

■スコットランド国立図書館から集められた貴重な史料群

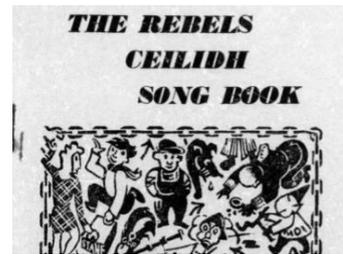
スコットランド独立を目指すナショナリストによる リーフレット集成 1844~1973年 Scottish Nationalist Leaflets, 1844-1973

スコットランド独立の実現可能性に関する国家主義的視点を研究



1707年の合同法により、スコットランド議会とイングランド議会が統合され、ウェストミンスター宮殿にグレートブリテン議会が設立されました。それ以来、スコットランドの市民たちはスコットランド独立の実現可能性について議論を重ねてきました。本コレクションに含まれる文書には、国際関係への影響、財政政策案、スコットランド国民党のパンフレット、そしてスコットランドの文化的独立の復興など、スコットランドの独立に関する豊富な情報が多数収録されています。本コレクションは、19世紀半ばから20世紀後半にかけてのスコットランド民族主義の成長と、それに続く独立要求の推移を記録したもので、21世紀において主要な政治運動となることが予想されるテーマを研究したい学者や学生にとって、非常に優れた一次史料群となるでしょう。

英国議会への批判には、スコットランドが政府支出から公平な恩恵を受けていないという非難が含まれており、スコットランドは連合における対等なパートナーとして扱われていないという主張が飛び交いました。このコレクションには、Archie Lamont や Oliver Brown, Robert Gayre, Hugh MacDiarmid, William Mitchell, Douglas Young といった影響力のあるスコットランド人たちによって書かれたパンフレットが含まれています。この史料群は、独立したスコットランドがどのように機能し得るかが探求され、石油や産業、そして自治のための青写真について議論されています。また、本コレクションには、「Rebel Songbooks」やスコットランド文学を含む豊富な文化的資料が含まれており、1940年から1942年までスコットランド国民党の党首を務め、作家・ジャーナリストでもあった William Power の「The Culture of the Scots: its Past and Future, 1943」なども収録されています。



大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費(Annual Hosting Fee)**は**不要**です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:info@kyokuto-bk.co.jp





■5つのパートに整理されたビラ・パンフレット群

1. Pamphlets by Author, Making the Argument for Independence, 1847-1972

これらの文書は、スコットランドがイングランドの支配下に置かれ、結果的に適切に統治されず衰退に追い込まれたという主張から始まります。その後、イギリス議会は法律が過密であり、スコットランド向けの多くの法律を成立させることが難しく、また党の規律担当議員に過度の権限を与える欠陥のある代表制度を持っているため、この状況を変える可能性は低いと論じています。そして、スコットランドの自治は必要であり、哲学として大きな進展を遂げており、その復活によってスコットランド人が教会を守り、子供たちに何を教えるかを定めることが可能になると述べています。

2. Official Publications of the Scottish National Party and Its Predecessor, 1928-1973

スコットランド国民党 (Scottish National Party, SNP) およびその前身である National Party of Scotland が何者であることを説明するパンフレットから始まります。これらの出版物は、スコットランドの特定地域の青写真からスコットランドのインフラまで、独立したスコットランドがどのような可能性があるかについての様々なビジョンを提供しています。また、スコットランド全体、特にハイランド地方が直面している課題について述べた内容も含まれており、さらには 1970 年代初頭の一連の全国会議の議事録を通じて、スコットランドの問題にどのように対処するかについて議論した文書も収録されています。このコレクションは、パノックバーンの戦いやウィリアム・ウォレスを記念したパンフレット、その他の雑多な資料で締めくくられています。

3. Calls for an Independent Scotland, 1853-1973

スコットランドが連合を離れるというビジョンを強調したこれらのパンフレットは、合同法そのものから反逆の歌、文化、共同市場、権限委譲まで、幅広い問題を扱っています。また、イングランドへの不満も中心的なテーマです。これには、スコットランドの権利が否定されているとされる主張、スコットランド議会の設立要求、スコットランドとイングランドの財政関係に関する議論が含まれます。Scottish Council of the Labour Party や Scottish Secretariat の資料もここに含まれています。さらに、ハイランド地方の扱い、宗教、スコットランドの教育なども焦点として取り上げられています。

4. Visions for the Future of Scotland, 1844-1973

何十年にもわたり、多くのスコットランド人作家が、独立したスコットランドがどのように機能するかについて探求してきました。これらのパンフレットは、彼らが模索した答えを明らかにしています。独立したスコットランドは、スコットランドの憲法や産業を含む再生の機会として見られてきました。これらの資料は、独立したスコットランドの一般的なビジョンから始まり、独立の基礎となる原則を探り、より詳細なパンフレットでは産業、経済、教育、科学に至るまで、独立したスコットランド政府の潜在的な権限を詳しく述べています。また、ホームルールが実際に機能するかどうかに関する多くの質問に答えるリスト形式の資料も含まれています。スコットランド自由党による独立のビジョンも含まれており、一部は権限移譲に関するビジョンを扱っています。

5. Critiques of England and Its Treatment of Scotland

スコットランド独立の支持者たちは、多くの場合、イングランドがスコットランドをどのように扱ってきたかに対して怒りを示しています。主な不満の原因は、イギリス政府によるスコットランドの無視、イングランドとスコットランドを区別しないこと、両国間の長年のステレオタイプ、そして合同条約 (Treaty of Union) を守らなかったとされる政府の失態です。スコットランドが報道機関によってどのように描かれているかも、これらのパンフレットで問題として挙げられています。

British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp